

投資事業評価調書(新規)

課室名	道路保全課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	道路保全課長 竹谷 徹 (藤田 宜久)	内線	4 3 8 9 (4 3 9 9)
-----	-------	---------------------	------------------------	----	------------------------

事業種目	交通安全 施設整備	事業名	事業区間	総事業費	約9.5億円
		特定交通安全施設等整備事業 (一) 郷ノ瀬野村線	西脇市野村 ~ 西脇市小坂町	うち用地補償費	-
所在地				着工予定年度	完成予定年度
西脇市野村 ~ 西脇市小坂町				平成17年度	平成21年度

事業目的	事業内容
交通安全対策 ・ ”つくる” から ”つかう” の観点から自転車・歩行者交通量の多い当該道路空間を見直し、既設歩道を拡幅するとともに、波打ち歩道の段差解消を図ることで、交通安全対策を推進する。	歩道整備（歩道のリニューアル・両側） L = 3 , 0 0 0 m W = 2 . 0 m (2 . 5) m 現況計画 W = 1 . 5 m (負担割合 国1/2 県1/2)

評価視点	評価内容
(1)必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車交通量、歩行者・自転車交通量が多い。 (自動車17,534台/日、歩行者205人/日、自転車573台/日) ・過去5年間に自転車・歩行者の交通事故(15件)が発生している。 ・死傷事故率(210人/億台km) ・市街化区域内であり、沿道は人家や商業施設、公共施設があり多様な利用状況にある。 ・周辺には重春小学校、西脇南中学校、西脇高校、西脇工業高校があり、通学路として利用しており、特に高校生は自転車通学生徒が多い。 ・あんしん歩行エリア(西脇市和田町地区)内の事業であり、外縁道路に位置づけられている。 ・福祉のまちづくり重点地区(市役所周辺地区・市街地川西地区・西脇駅周辺地区)内の事業であり、整備計画において歩道の平坦性不良箇所の解消が提案されている。 ・連続性の確保(前後の整備状況・・・起点側県道西脇口吉川神戸線、終点西脇八千代市川線ともに整備済み) ・住民参加による交通安全総点検を実施し、歩道の平坦性確保が提案されている。 ・波打ち歩道である既設歩道(1.5m)を路肩の一部を活用して、歩道の拡幅(2.5m)を行い、合わせてセミフラット型による歩道のバリアフリー化を図る。
(2)有効性・効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・歩行者・自転車の安全が確保され、投資効果が期待できる。 ・円滑な事業執行に向けて、地元の協力体制等が整っている。
(3)環境適合性	<ul style="list-style-type: none"> ・歩道部に透水性舗装、車道部に排水性舗装の採用による道路交通環境の改善を図る。
(4)優先性	<ul style="list-style-type: none"> ・あんしん歩行エリア、福祉のまちづくり重点地区に位置づけられ、福祉のまちづくり整備計画では、歩道の平坦性不良箇所の解消が提案されている。 ・重春小学校、西脇南中学校の通学路、西脇高校、西脇工業高校の自転車通学生など多様な利用状況であり、朝夕の通勤通学時においては、歩行者と自転車利用者の輻輳による車道へのはみ出しが発生するなど危険な状況にある。 ・地元のシバザクラ商店街では、当該事業の実施にあたり、歩道のリニューアル整備についての勉強会や先進事例の現場見学会を実施するなど事業執行環境が整っている。